



多治見市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年9月28日(木)岐阜県発表資料			
所属	担当課	担当者	電話番号
東濃県事務所	環境課	大塚 和彦	代表 0572-23-1111 (内線 212) FAX 0572-25-0079

瑞浪市^{かまどちょう}釜戸町地内における土壤汚染について

国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所（以下「砂防国道事務所」という。）が、一般国道19号瑞浪恵那道路工事に伴い事前に土壤を調査したところ、土壤環境基準を超える「鉛」及び「ふっ素」が検出されたため、本日（9月28日）、砂防国道事務所から東濃県事務所に報告がありました。

1 報告内容

(1) 調査地点

瑞浪市釜戸町地内

(2) 調査結果の概要

土壤溶出量調査

項目	調査 検体数	基準超過 検体数	調査結果	土壤環境基準	基準 超過倍率
鉛	7	1	0.019 mg/L	0.01 mg/L 以下	1.9 倍
ふっ素	7	1	0.83 mg/L	0.8 mg/L 以下	1.04 倍

※その他の物質についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

自然由来による汚染の可能性が高いと考えられますが、現時点では不明です。

なお、周辺地域には、「鉛」及び「ふっ素」を原料に使用する工場・事業場はありません。

3 今後の対応

(1) 地下水調査について

「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、瑞浪市の協力を得て、基準超過地点から「鉛」については半径80m、「ふっ素」については自然河川により隔てられた地域を除く半径250mの範囲内にある家庭及び事業場を対象に、井戸水の利用状況調査及び水質検査を直ちに実施します。

(2) 地域住民への情報提供について

周辺地域は上水道が普及していますが、井戸水を利用している場合は、水質検査結果が判明するまでの間、飲用自粛を呼びかけます。

(3) 汚染土壌の対策について

汚染土壌の適正な管理等が講じられるよう砂防国道事務所に助言していきます。

【鉛に関する説明】

「鉛」は比較的柔らかく加工が容易なため、古くから利用され、今日では主にバッテリーやはんだの原料として使用されています。以前は、ガソリンへの添加剤、水道管にも使用されていました。人体への蓄積性があるため、人の臓器や組織に通常でも存在し、高濃度の鉛による中毒の症状としては、食欲不振、貧血、尿量減少及び腕や足の筋肉の虚弱などがあります。また、鉛は地殻の表層部には重量比で 0.0015%程度存在し、人為的な排出のほかに地質に起因するものが含まれています。

【ふっ素に関する説明】

「ふっ素」は反応性が高いため、自然界ではさまざまな元素と結合した化合物として存在します。環境中では主に水中に存在し、温泉水や火山地帯の地下水にかなり高濃度のふっ素が含まれていることがあります。ふっ素を継続的に飲み水から取り込むと、斑状歯（歯に褐色の斑点や染みができただ状態）になることがあります。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省発行）